



# 真生会富山病院

## 地域連携だより

第 10 号

2015 年 7 月発行

〒 939-0243

富山県射水市下若 89-10

TEL 0766-52-2156

FAX 0766-52-2197

<http://www.shinsekai.jp/>



## 地域との信頼関係を築くために



事務長代行  
よしだ たかひさ  
吉田 充寿

真生会富山病院は、「2018 年に向けて、次の病院を目指します。」というビジョンを掲げております。

- 一、射水市を住みよい街とするために  
地域との信頼関係を築き、急性期と回復期をしっかり担える地域包括ケア拠点病院を目指します。
- 一、魅力ある真生会にするために  
ダントツの強みを持って広範囲から患者やスタッフを集められる病院を目指します。
- 一、みんなが幸せになるために  
職員が生き生きと働き、みんなの笑顔があふれる病院を目指します。

ビジョンの最初にもありますとおり、「地域との信頼関係」を築く活動に一層力を入

れています。その一つとして、昨年、富山県医療・福祉施設事務長会に加入しました。事務長会でも最近の話題は、何と云っても地域医療構想です。5月の総会には、富山県厚生部医務課の担当主査を講師に招いて、地域医療構想について説明講演をしていただきました。厚生労働省から各都道府県にガイドラインが示されましたので、これから県の主導で関係者を交えて、地域医療構想が策定されます。この内容と、各医療機関の目指す方向が一致していればよいですが、もし違っていれば、地域医療構想調整会議なる「協議の場」が設けられ、話し合わなければなりません。

当院は、地域医療構想が策定されるのを待って、方向を考えるのではなく、これから求められる地域包括ケアシステムの中で、確固たる拠点病院としての立ち位置を定めて、すでに歩を進めております。

この地域が、県、さらには全国のモデルになるくらいの夢を持って、笑顔があふれる街作りに参画したいと思います。皆さまと共に、力強く前進できるよう、努めたく思います。よろしく願い申し上げます。

## 第4回地域連携交流会を開催して

地域医療部 医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー 高山 弘子

6月12日（金）、第4回地域連携交流会を行いました。射水市内の介護支援専門員（ケアマネジャー）と当院の多職種の親睦を図る目的で4年前から毎年開催しています。

今年はケアマネジャーの他に、射水市役所長寿介護課から2名の方が初参加され、院外から40名以上の方にお越しいただきました。当院からは医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士らが参集しました。

前半は腎臓内科部長の二村医師より、「末期腎不全患者に行う治療選択」について医学講座があり、腎不全の症状と透析について学びました。糖尿病患者数の増加に伴い、末期腎不全の患者さんが増え、その結果わが国の透析患者数は増加の一途をたどっています。今回の講座では、腎臓の働きについての基礎知識や透析治療のメカニズムを知ることができました。



医学講座の後はコーヒブレイクをはさんで、懇話会でした。普段は会う機会の少ない医師と看護師の顔を覚えていただきたく、毎年、全体の場で医師、看護師が自己紹介をする時間を設けています。その後は、各7～8名のグループに分かれてのグループワークです。今回は初めての試みとして、あらかじめいくつかテーマを決めておき、グループごとに話し合いたいテーマを選んでディスカッションしてもらいました。「退院支援について」、「認知症について」、「地域包括ケアシステムについて」、「在宅での看取りについて」、「口腔・栄養管理にかかわる取り組みについて」の5つのテーマで活発な意見が交わされ、双方の交流を深めることができました。



### 参加した当院スタッフの感想

- ・初めて参加させていただきましたが、感動的でした。「最初、息子さんは、在宅での看取りに非協力的でした。ところが親御さんの看取りを通して、息子さんが日々成長していられました。親御さんが、最期に体にかけて、お子さんを教育されたと思わずにおれません」というケアマネジャーの発言に身震いがしました。（皮膚科医師）
- ・グループワークにて、ケアマネジャーから多くの意見を聞きました。医師が配慮せねばならない部分も多くあり、勉強になりました。（研修医）
- ・今回2回目の参加です。以前も参加し、ケアマネジャーの顔と名前が一致し、親近感がわきます。貴重な時間を有難うございました。（外来看護師）
- ・私達のグループでは、地域包括ケアを議題に意見交換しました。医師、看護師、ケアマネジャー（医療系、福祉系と様々）で話し合いました。それぞれの立場から感じている問題点や課題など多くの意見が活発に交わされ、とても貴重な時間となりました。このように顔の見える関係を持ち、意見を出しあうことが地域包括ケアへの第一歩になるのではないかと感じました。参加させていただき有難うございました。（訪問看護ステーションこころ 看護師）



# 健康管理委員会の活動紹介

運営委員長 阿部 素子（医療ソーシャルワーカー）

健康管理委員会では、職員の健康増進に関する取り組みをしています。今年度は、職員の健康に関する話題提供や、きっかけ作りを行うことを念頭に活動しています。メンバーは、医師、看護師、臨床心理士、フロアマネジャー等の多職種で構成されています。活動内容を以下に紹介します。

## 1. 禁煙の啓蒙活動

年に1度、禁煙講習会を開催しています。（教育委員会主催のレベルアップセミナーとして開催）昨年度は呼吸器内科の医師を講師に招き、同時に職員の喫煙状況に対するアンケート調査も実施しました。同居者に喫煙者がいる職員が多く、受動喫煙に対する啓蒙が必要であることが分かりました。

## 2. メンタルヘルス相談

臨床心理士を中心に、職場や家庭のことなど悩み事の相談に乗っています。身体面では、産業医でもある内科と消化器内科の医師が相談に応じています。

## 3. ストレス簡易調査

職員の健康診断時に、ストレス簡易調査票による調査を行っています。昨年度、初めて実施したストレス簡易調査では、職員全員にアンケート方式で協力を求めました。職員全体のストレス状態の傾向を知ることは重要だと考えています。

## 4. 体力測定

健康診断時、希望者に体力測定を実施しています。握力、背筋力、柔軟性を測る長坐位体前屈の測定機器を設置し、自由に使用してもらっています。

## 5. 職員用貸出図書の管理

職員食堂内に設置している書棚の本の収集、管理をしています。職員から本の寄付も募り、リラックスできる写真集なども置いています。

## 6. 「こころとからだの有機栽培」（職員向けホームページ）の更新

職員向けのパソコン上のサイトに、ホームページ「こころとからだの有機栽培」を掲載しています。内科の医師による「快&不快のマネジメント術」の連載や、「私の健康法」のコーナーでは、医師やその他の職員が、健康法を披露しています。

## 7. 健康情報の配信

職員向けのパソコン上の掲示板に「ワクワク健康情報」を定期的に掲載し、食品添加物の情報など発信しています。

**♪聞いてみよう！こころとからだの不調**

**からだの気になること**  
ストレスの解消法を知りたい  
当院の産業医でもある内科の清水医師と、消化器内科の平名医師が相談にのります。  
直接、医師にメールでご連絡ください。  
（電話や直接会った時の相談でも構いません）

**こころの気になること**  
坂井臨床心理士、田邊臨床心理士、八尾カウンセラーが相談にのります。  
サイボウズの健康管理委員会ホームページ「こころとからだの有機栽培」のトップページ左上にメールアドレスを掲示しています。そちらへメールでお申し込みください。

最近、からだとこころのことで気になっている方は、まずは、気軽に相談してみましょう！

\* 秘密は厳守いたします \*

健康管理委員会

メンタルヘルス相談のポスター。  
更衣室や休憩室に掲示しています。



# 真生会富山病院からのお知らせ

## ■小児科の外来診療について

7月1日より、小児科の診療体制が以下のように変更になりました。

### 小児科予定表（10月末まで）

時間帯	月	火	水	木	金	土
午前	○	休診※	○	休診	○	○
乳児健診 (予約制)	予防接種 (14時半～15時)	予防接種 (13時半～14時半)	—	予防接種 (13時半～14時半)	予防接種 (13時半～15時)	—
	乳児健診 (14時半～15時)	乳児健診 (13時半～14時半)		乳児健診 (13時半～14時半)	乳児健診 (13時半～15時)	
昼・夕方	○ (16時半～19時)	○ (15時～17時)	○ (16時半～19時)	○ (15時～19時)	○ (16時半～19時)	休診

※月曜日が祝日の場合は、火曜日の午前に診療を行います。

## ■出張講座（無料）

医師をはじめとして、看護師、その他の職員が、皆さんの地域に出向いて講座を開催しています。ホームページよりお申込み下さい。（<http://www.shinseikai.jp/lecture/>）

### 講座のご紹介

- 「健康な食生活」
- 「脳梗塞の治療と予防」
- 「いつまでも若々しくある方法」
- 「出産前からできる3つのこと」
- 「糖尿病でも一生よい視力を保つために」
- 「加齢でおこる目の病気」
- 「知って安心在宅介護～自分らしく在宅療養生活を送るために～」
- 「ベビーマッサージ」

\*上記の講座以外にもご要望がありましたら、ご相談に応じます。



浅井コミュニティセンター



吉田医師



南太閤山コミュニティセンター



館医師